

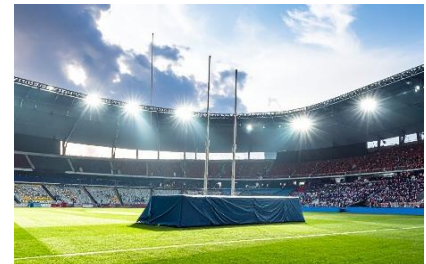
向上 常に自分を高める



10月10日(金)は前期終業式です。令和7年度前期の一日一日は、将来の「夢」や「目標」の実現に近づく日々であってでしょうか。時間の使い方と取り組んだ内容によって、自分の向かう先が決まってくるものです。私たちが学校で過ごす時間は、教科の学習活動や行事など、使い方は決まっています。取り組む内容は、課題解決に向けて自分がどのように学習を進めたかで変わります。家庭で過ごす時間と取り組む内容は自分で決めています。これまでに何を積み上げて今の自分になっているかを振り返る節目としましょう。秋季休業期間に、どうなりたいか、何をしたいかを保護者の方と話し合うのもよいでしょう。

さて、「東京2025世界陸上」が9月13日(土)から21日(日)に開催され、テレビや新聞等で競技に挑む選手の姿が報道されました。各国の代表選手の紹介を見たとき、自分の力を高めるために必要なことは何かを考えるヒントがあると考えました。

【スウェーデン代表 アルマンド・デュプランティス選手】
「男子棒高跳び」で世界記録を更新し話題になりました。
デュプランティス選手について次のこと等が紹介されました。



- ①家の裏庭に棒高跳びの練習場がある。
- ②父親が元棒高跳びの選手である。
父や兄が棒高跳びをしている姿を見ていた。
- ③3歳のころから競技に親しんでいた。
- ④野球好き。ドジャースの大谷翔平選手に憧れている。

- ①環境が整っていることは、自分を高めるために重要なことでしょう。本気で打ち込むことができる環境があり、適切に活用することができていれば、自分を高めることができます。「苦手な教科を克服したい」と思うのであれば、不要なものを整理し、自分が使いやすい学習環境にするとよいでしょう。
- ②身近にモデルとなる人がいることは、自分を高めるための参考になります。上手くいく方法を実際に見たり、課題解決のための具体的な助言を得たりすることができます。様々な情報が手に入る時代です。身近にモデルとなる人がいなくても、書籍や動画から学ぶことができます。自分から情報を得ることは、自分を高めるために必要なことでしょう。
- ③経験の積み上げは、自分を高めるために必要不可欠です。何年も続けて取り組むことができる人は、そのことが好きだからでしょう。他人に言われてしているのではなく、自分の判断で続けているのでしょう。成し遂げたい「夢」や「目標」があるのでしょう。経験は、時間的な長さだけでなく、自分の行動に責任をもち自分で問題解決に向けて取り組んだ実績によって、大きく変わるものです。上手くいかないときに、人のせいにしないことです。
- ④尊敬する人がいることは、目指す生き方となり、自分を高めようとする心の支えになります。生きていれば、上手くいったりいかなかったりするものです。困難なことに直面したときに、諦めることなく努力し挑み続けられる人は、心の支えとなるものを持っているものです。

生徒の皆さんの最大の理解者と支援者は、保護者です。そして、学校の先生方や地域の大人です。環境は人の行動や成長に影響します。周りの人の理解と協力を得ることは「夢」や「目標」の実現に近づく基盤になります。そして、人のせいにすることなく学び続けることが、自分を高めることになるのです。

教頭 後藤 弘行

9月12日(金) 今年度2回目の学校運営協議会を開催しました。桜丘中学校区で育みたい児童生徒の姿について熟議しました。